大院の小野そうしきくわんせとい事仰
時長の御ぎ

宗とし長谷の川若せ紙てやこ
こづ様よりかんめしくだい
とうりしをつまぐこれの御ぎどのこなまあ
りどまて時命入道りうをわくせ仰しうばもの
御大こ殿ろ那あるもみくきこれのかてれ沙
とび崩ちといつものみるとびづとうむなり
いうぞう法中そうまん京にこの縄とびとふ
でさくや仰しうぶわくあ御とびづてやこ
こ後行ぐ大流かく様ねくしまりうれこの

御いづしあくばさくしとぞ仰きこれ仰ましし

長谷大将事

九郎義いまぐ[illegible]とし時人こう音首ぶい
御ぎうませ法ゆ仰さそのこびいづきくこひば
ゆしあくくそうい美みさつき法ゆさちろ
く法ちれたれいぞ鬼のさけとなるなれけと
ようくうりしばくしれ木れいれ[illegible]
長人道いこの道の長者ていますぐれどあ
じのなりさりどぶじのなるくくみくりうの
大名ぶしの木れとづひくくよわられ法しぶ
いうじきのうれ迷恨そなん仰しものく